

シラバス

2020 年度

研究科

本物にふれる 本当の力をつける



学校法人高澤学園 美術造形専門学校

創形美術学校

ファインアート科／ビジュアルデザイン科／研究科

履修ガイド

1. カリキュラム

- (1) 授業について単位を修得するためには2/3以上の出席が必要となる。止むを得ず授業を欠席する場合、必ず事前に学校へ連絡すること。
- (2) 原則、指導日の授業開始時に出欠確認を行う。遅刻・早退は記録し、欠席扱いとなる場合がある。
- (3) 交通機関の遅れに関しては必ず遅延証明書を提出すること。
- (4) 各授業の出講表・シラバスとして授業内容の他、学習目的、予習、準備物、注意事項とともに評価方法及び教員・講師の出講日も記載。授業の1週間前にはアトリエに出講表を掲示。また学校ホームページでも確認することができる。
- (5) 指導日以外は授業が休みということではない。指導日以外の日も各自で制作を進めること。授業期間で制作を行うことで時間数に基づき単位がそれぞれ設定されている。スケジュールを確認し、作品提出日をしっかりと守ること。
- (6) 気象庁より23区に災害警報（暴風警報・大雪警報等）が発令された場合は原則休校となる。その場合は、学校から休校のメール連絡を行う。
- (7) 日曜、祝日において基本的に学校は休日（附帯教育は除く）となるが、場合により日曜、祝日を授業日とすることがある。新年度ガイダンス時配布のスケジュールに記載されるのでよく確認をすること。
- (8) アトリエ開放日は、休日において授業日以外の目的でアトリエを学生に開放する。ただしこの場合、使用できるアトリエは学校の指定するアトリエのみとなる。

2. 単位の認定

- (1) 実技=課題の採点により合格と認定のあった学生には、所定の単位を与える。
学科=試験、課題(レポート含む)等の採点により合格と認定のあった学生には、所定の単位を与える。
- (2) 単位計算の基準=各授業科目（実技、学科共）に対する単位は週90分半期17週相当（25.5時間）の授業をもって1単位とする。

3. 修了の要件

研究科生は1年以上在学し、かつ所定の32単位以上修得しなければならない。

4. 履修に関する注意

- (1) 学生の履修は在籍する科の指示に従い、受講する科目は原則として全て履修する。
- (2) 授業途中からの受講は原則として認めない。

- (3) 受講した科目は、原則として変更することはできない。
- (4) 選択を希望する科目で受講人数が多い場合は、人数制限を行う事がある。

5. 採点

- (1) 受講した科目は課題(レポート含む)を提出しなければならない。
- (2) 必要に応じて授業内で課題(レポート含む)提出を複数回、行なうことがある。
- (3) 科目の採点は、授業終了時に行なわれる。
- (4) 採点の方法は課題(レポート含む)の提出を含む総合的な評価で採点する。

※評価方法はシラバスに掲載

- (5) 受講した科目の出席日数が、3分の2以上に満たないものは、原則として採点を受けることができない。

6. 追採点

病気その他やむを得ない事由により課題(レポート含む)を提出することができなかった者に対し、事前にその旨連絡のあった場合に限り、願い出により実施することができる。
ただし課題(レポート含む)内容は授業内の課題(レポート含む)と異なる場合がある。

7. 採点基準

- (1) 採点は、60～100を合格とし、それ以下を不可とする。
- (2) 配点区分は次による。

採点	評価	
100～95	AA	合格
94～80	A	
79～70	B	
69～60	C	
59～ 0	D	不可
保留	-	仮処置

- (3) 採点保留(仮処置)による扱い

※学科において採点の結果、点数が59点以下の場合、不可となる。

※授業を担当する講師による採点が保留となった場合は、追課題(レポート含む)が課せられる。追課題の採点は専任の判断に委ねられ、成績会議によって認定される。

8. 修了資格判定及び修了判定

- (1) 修了においては11月に修了資格判定を行い、判定結果の掲示を行う。その際に出席、学科、実技などを考慮した結果、修了資格なしと判定のあった者は修了制作を着手する事ができず、修了不可となる。判断保留の学生については、3月において修了判定を行い、単位の修得状況によっては修了制作の提出があっても修了不可となる場合がある。
- (2) 学費において未納がある場合、修了判定において修了不可もしくは除籍となることがある。

9. 専攻を越えた授業

専攻を跨いで受講することが可能。ただし専任教員の許可が必要。

- (1) 授業開始の2週間前までに専任教員に「受講届」を提出、面談、了承を得てから受講すること。
- (2) 授業によっては、そこで使用する道具、機材やソフトなどの関係で受講できないことがある。
- (3) 原則、自身の専攻を疎かにしない範囲での受講となる。
- (4) 「受講届」は学校ホームページよりダウンロードできる。

10. 授業単位サポート制度

「授業単位サポート制度」とは単位修得をサポートするための制度。いずれも専攻担当専任教員と面談を通じて認定される。

代替授業、学外活動を通じて認定

- (1) 所属専攻、該当学年の授業以外の授業を受講することによる単位修得（単位数：受講授業単位に準ずる）
※所属専攻の授業と重複した場合は受け入れ授業の担当教員の許諾により、途中からの受講、中抜けも認め、その場合のみ出席扱いとする。
- (2) インターンシップに参加、レポートを提出することによる単位修得（単位数：1単位）
※2年次の「インターンシップ」の授業と同様のインターンシップを、授業以外の期日に行った場合に認める。
「インターンシップ」の授業同様に書類、レポート提出が必須。採点方法は受入会社の評価に従い採点。
- (3) ボランティア活動などによる単位修得（単位数：活動期間に準ずる）
※単位認定は原則、実質1日8時間のボランティア活動を5日行う事で1単位とする。
事前に専攻担当専任教員による面談を行い、ボランティア活動を行った後に「ボラン

ティア活動報告書」の提出をもって認定。採点評価。

認定されるボランティア活動に、豊島区の国際アート・カルチャー活動を含む。

(4) 学外コンペに出品することによる単位修得（単位数：1 単位）

※専攻担当専任教員にコンペの内容を事前に報告し、出品前に専攻担当専任教員の講評を受けて出品すること。

ただし授業の一環として行われた学外コンペの出品は認められない。

例：「JAGDA 学生グランプリ」「アワガミ国際ミニプリント展」「回遊美術館」

「GU タペストリーコンペ」etc

1 1. 参考作品

提出のあった課題作品、およびレポートについては原則として採点終了後、すみやかに返却を行なう。場合により参考作品として一定期間預かり、授業の資料として授業時やガイダンスなどで使用する事がある。また、学校案内用の印刷物や広報（ホームページ、SNS など）および学校外など授業以外での目的で作品を使用する事がある。

1 2. シラバス・出講表・年間行事

シラバス、出講表、年間行事は学校ホームページで閲覧できる。

※年間行事の変更があった場合には、その都度更新される。

1 3. 各種書類

以下の書類は学校ホームページよりダウンロードできる。

（創形ホームページ → 学生生活 → スクールガイド → ）

「住所変更届」「欠席届」「忌引届申請書」「感染症登校許可証明書」「学籍移動申請書」

「休学願」「受講届」「インターンシップ実習レポート」「ボランティア活動報告書」

*新型コロナウイルスの感染症拡大の影響に伴い授業日程（時期・期間・時間帯など）、授業内容、使用アトリエなどが変更になることがあります。詳細は出講表を確認してください。

研究科ファインアート・ビジュアルデザイン課程

アート研究・デザインビジネス・美術進学コースシラバス

【研究科・研修生】

目的

大学や専門学校を卒業後、1年間でより深く専門分野の知識や技術を取得し、以下の事を目的とします。

「自立した創作、研究活動の確立」

「プロに必要なビジネススキルを習得」

特徴

1. 自在に授業選択が可能な受講プログラム（＊美術進学コースは対象外。）
2. 実践的な授業カリキュラム
3. グローバル社会を意識した世界水準の教育
4. プロのクリエイターによる直接指導
5. 充実した環境と設備

コース別の特徴

〈アート研究コース〉

- 1つのテーマを掘り下げて研究することが可能
- 創形美術学校“作品”展、大学版画展などの学外展示の参加
- 研修派遣員の応募が可能（パリ国際芸術都市研修生・メキシコ研修派遣員）

〈デザインビジネスコース〉

- デザイン制作会社への就職に必要な知識とスキルを身につけることが可能
- 就職支援を受けられ、インターンシップへの参加も可能
- 「web コミュニケーション」「UI デザイン」「ポートフォリオ講座」「著作権」「美術日本語」などの講座

〈美術進学コース〉

- 大学院受験に特化したカリキュラム
- 専攻分野の作品の指導とともに「進学準備講座」「小論文」「研究計画作成法」「ポートフォリオ講座」「日本語能力試験N1対策」「美術日本語」などの進学対策の講座が設けられている。
- 個人面談を通じて、希望校に合わせた受験対策をアドバイス
- 模擬面接試験の実施

研究科

■ アート研究コース

	授業科目		履修形式	単位数
学 科	日本語能力試験 N1 対策		選択	4
	美術日本語		選択	2
実 技	総合研究			
	小計 16 以上			
	*習得する科目の合計が 16 単位以上にならない			
	修了制作	修了制作	必修	16
	合計			32

前期学科授業名：「日本語能力試験 N1 対策」 担当講師：蒋 燕萍

学習目標：①日本語能力試験 N1 に合格できる力を付けること。

②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。

授業内容：試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。

前期学科授業名：「美術日本語」 担当講師：メロス美術学院講師

学習目標：美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。

授業内容：1. 1 分間スピーチ（30分）

2. 美術関係記事についてのディスカッション（50分）

3. 映像教材を用いた美術用語導入（90分）

4. 前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分）

5. 課外宿題

授業名：「総合研究」

担当講師：山本哲次、工藤礼二郎、鈴木吐志哉、岡山拓史、飯田 淳

学習目標／授業内容：前期本科 2、3 年のカリキュラム履修もしくは自主研究。

授業名：「修了制作」

担当講師：山本哲次、工藤礼二郎、鈴木吐志哉、岡山拓史、飯田 淳

学習目標／授業内容：修了作品の制作。ポートフォリオの完成。

研究科

■ デザインビジネスコース

	授業科目		履修形式	単位数
学 科	特別講座／就職セミナー		選択	1
	日本語能力試験 N1 対策		選択	4
	美術日本語		選択	2
	ポートフォリオ講座		選択	1
実 技	総合研究	特別授業イラスト表現(谷口)	IL 選択	2
	小計 16 以上			
	＊習得する科目の合計が 16 単位以上にならない			
	修了制作	研究テーマ制作	必修	16
		就活ポートフォリオ	必修	
合計			32	

前期学科授業名：「日本語能力試験 N1 対策」 担当講師：蔣 燕萍

学習目標：①日本語能力試験 N1 に合格できる力を付けること。

②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。

授業内容：試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。

前期学科授業名：「美術日本語」 担当講師：メロス美術学院講師

学習目標：美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。

授業内容：1. 1 分間スピーチ（30分）

2. 美術関係記事についてのディスカッション（50分）

3. 映像教材を用いた美術用語導入（90分）

4. 前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分）

5. 課外宿題

授業名：「特別講座／就職セミナー」 担当講師：ゲスト講師

学習目標：特別講座：現代社会においてクリエイターの役割は益々重要性を増し、その領域は日々拡大しつつあります。講座では創作における考え方、発想法をリアルタイムな講義を通して学んでいきます。

就職セミナー：就職活動から入社後の心構えやクリエイターとしての取り組みなどについてセミナー講座を開催。

授業内容：7/11(土)就職セミナー1（卒業生）、7/28(火)就職セミナー2（岡山）、9/26(土)同窓会特別講、10/7(水)知的財産権（山本）、10/17(土)就職セミナー3（アイデム）、12/12(土)創形展特別講座 ＊日程は出講表を確認すること。

授業名：「総合研究」

担当講師：山本哲次、工藤礼二郎、鈴木吐志哉、岡山拓史、飯田 淳

学習目標／授業内容：オーダーメイドカリキュラムシステムによるそれぞれ専攻分野の前期本科2、3年のカリキュラム履修及び習得。

イラストレーション・絵本専攻分野選択

前期実技授業名：「特別授業イラスト表現」 担当講師：谷口広樹

*美術進学コースの場合、タイトルは「イラストレーション研究A」となります

学習目標：ただ自身の好きなものを描くのではなく、目的に合う自分の表現のための演出力と創造性を身につける

授業内容：季刊誌の表紙のイラストレーションを制作する および 各授業毎に課題を課し授業内で制作をする

前期学科授業名：「ポートフォリオ講座」 担当講師：上野 仁志

学習目標：ポートフォリオは、記録集ではない。「何ができるか」「何をしたいのか」を伝えるもの。ポートフォリオの制作を通じて、自己作品の効果的な提示方法を習得する。また、「作品を見返すこと」、「他者のポートフォリオを見ること」、「自らの言葉で作品を説明すること」を通じ、自己作品を俯瞰で捉え、作品制作のあり方を探る。

授業内容：初日に「ポートフォリオを作ろう」講義を行います。個々に対応した、ポートフォリオ作成をアドバイスします。最終日に、作成したポートフォリオの説明（プレゼンテーション）を実施。

授業名：「研究テーマ制作」

担当講師：山本哲次、工藤礼二郎、鈴木吐志哉、岡山拓史、飯田 淳

学習目標／授業内容：オーダーメイドカリキュラムシステムによるそれぞれ専攻分野による後期授業の履修もしくは「研究テーマ制作」の習得。ポートフォリオ(就職試験用)の完成。最終的に日本での業界就職を目指す。

授業名：「就活ポートフォリオ（就職支援カリキュラム）／インターンシップ」

担当講師：上野仁志、山本哲次

学習目標：仕事に対しての意識を高め、就職活動を知り、将来計画のきっかけをつくることを目標とします。

インターンシップを経験することにより、専門的知識についての実務能力を高めるとともに、学習意欲に対する刺激を得られ、高い就業意識を身につけることができます。さらに、将来の進路選択において自らの適性や能力について実践的に考える機会になります。クリエイティブ業界の最新の情報を得られるとともに、会社が求める人材に対するニーズが把握できる事も大きなメリットです。

授業内容：自分のポートフォリオを制作し、プレゼンテーションを行ないます。また、就職についての講義を行ないます。

就業体験(インターンシップ)をし、実習レポートをまとめて提出。(希望選択制)

研究科

■ 美術進学コース 絵画造形専攻分野

	授業科目		履修形式	単位数
学 科	日本語能力試験 N1 対策		必修(*注)	4
	進学準備講座		必修	6
	研究計画作成法		必修	1
	前期小論文		必修	1
	ポートフォリオ講座		必修	1
	美術日本語		必修	2
	特別授業―多摩美術大学澤田泰廣教授		選択	
	後期小論文		選択	1
実 技	総合研究			
	小計 16 以上			
	*習得する科目の合計が 16 単位以上にならない			
	修了制作	絵画総合研究ゼミ	必修	16
	合計			32

(*注)すでに日本語能力試験 N1 を取得した者は対象外となります。

前期学科授業名：「日本語能力試験 N1 対策」 担当講師：蒋 燕萍

学習目標：①日本語能力試験 N1 に合格できる力を付けること。

②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。

授業内容：試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。

前期学科授業名：「進学準備講座」 担当講師：蒋 燕萍

***2/12(金)、2/19(金)、2/26(金)は希望選択**

学習目標：美術大学院への進学を目指す内容です。大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。

授業内容：大学院進学に必要な学校選び方、研究室の選び方、教授への連絡の取り方、面接指導などを通じて、合格まで授業や個別対応にてサポートします。
また、発信力を向上するため毎回の授業で、関連記事の感想発表を行います。

前期学科授業名：「研究計画作成法」 担当講師：新川 貴詩

学習目標：研究計画書の構成や表現、そして日本語の論理的な文章の書き方を身につけることを目標とする。また、大学院受験に必要な研究計画のプレゼンテーションや面接試験の応答の能力も高める。

授業内容：この講義では、大学院進学に向けて、研究計画書を書く方法について学ぶ。研究計画書の構成や文体などを習得するとともに、研究課題の絞り込みや動機・背景の整理整頓を図る。また、大学院の学科や指導教員を選択するにあたっての情報収集の方法についても学ぶ。

前期学科授業名：「小論文」 担当講師：蔣 燕萍

学習目標：入試小論文の内容を向上すること。

授業内容：模擬小論文を通じて、小論文の練習に繋がること。

学科授業名：「特別授業-多摩美術大学澤田泰廣教授」 担当講師：澤田 泰廣

学習目標：大学院におけるデザイン研究のレベルと、その取り組み方の理解を目標とします。

授業内容：多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程（修士課程）デザイン専攻グラフィックデザイン研究領域について。

前期学科授業名：「ポートフォリオ講座」 担当講師：上野 仁志

学習目標：ポートフォリオは、記録集ではない。「何ができるか」「何をしたいのか」を伝えるもの。ポートフォリオの制作を通じて、自己作品の効果的な提示方法を習得する。また、「作品を見返すこと」、「他者のポートフォリオを見ること」、「自らの言葉で作品を説明すること」を通じ、自己作品を俯瞰で捉え、作品制作のあり方を探る。

授業内容：初日に「ポートフォリオを作ろう」講義を行います。個々に対応した、ポートフォリオ作成をアドバイスします。最終日に、作成したポートフォリオの説明（プレゼンテーション）を実施。

前期学科授業名：「美術日本語」 担当講師：メロス美術学院講師

学習目標：美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。

授業内容：1. 1 分間スピーチ（30分）

2. 美術関係記事についてのディスカッション（50分）

3. 映像教材を用いた美術用語導入（90分）

4. 前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分）

5. 課外宿題

後期選択学科授業名：「小論文」 担当講師：蔣 燕萍

学習目標：模擬小論文を通じて、小論文の練習に繋げる。

授業内容：入試小論文の内容を向上すること。

美術進学コース絵画造形専攻分野対象

授業名：「絵画造形総合研究ゼミ」 担当講師： 工藤礼二郎

学習目標：受験する各大学院研究室の担当教員の制作及び研究活動等を十分に理解し、進学後の自らの研究テーマがそれらに相応しいものであるかを検討する。

授業内容：希望する大学院のどの研究室を目指すのかを単なる校名やイメージだけでなく、各学生ごとの具体的な面談内容と制作内容とを照らし合わせながら、以後の方向性を見極め、より適切な進路先を決定する。

研究科

■ 美術進学コース 版画専攻分野

	授業科目		履修形式	単位数
学 科	日本語能力試験 N1 対策		必修(*注)	4
	進学準備講座		必修	6
	研究計画作成法		必修	1
	前期小論文		必修	1
	ポートフォリオ講座		必修	1
	美術日本語		必修	2
	特別授業―多摩美術大学澤田泰廣教授		選択	
	後期小論文		選択	1
実 技	総合研究			
	小計 16 以上			
	*習得する科目の合計が 16 単位以上にならない			
	修了制作	版画総合研究ゼミ	必修	16
	合計			32

(*注)すでに日本語能力試験 N1 を取得した者は対象外となります。

前期学科授業名：「日本語能力試験 N1 対策」 担当講師：蔣 燕萍

学習目標：①日本語能力試験 N1 に合格できる力を付けること。

②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。

授業内容：試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。

前期学科授業名：「進学準備講座」 担当講師：蔣 燕萍

***2/12(金)、2/19(金)、2/26(金)は希望選択**

学習目標：美術大学院への進学を目指す内容です。大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。

授業内容：大学院進学に必要な学校選び方、研究室の選び方、教授への連絡の取り方、面接指導などを通じて、合格まで授業や個別対応にてサポートします。
また、発信力を向上するため毎回の授業で、関連記事の感想発表を行います。

前期学科授業名：「研究計画作成法」 担当講師：新川 貴詩

学習目標：研究計画書の構成や表現、そして日本語の論理的な文章の書き方を身につけることを目標とする。また、大学院受験に必要な研究計画のプレゼンテーションや面接試験の応答の能力も高める。

授業内容：この講義では、大学院進学に向けて、研究計画書を書く方法について学ぶ。研究計画書の構成や文体などを習得するとともに、研究課題の絞り込みや動機・背景の整理整頓を図る。また、大学院の学科や指導教員を選択するにあたっての情報収集の方法についても学ぶ。

前期学科授業名：「小論文」 担当講師：蔣 燕萍

学習目標：入試小論文の内容を向上すること。

授業内容：模擬小論文を通じて、小論文の練習に繋がること。

学科授業名：「特別授業-多摩美術大学澤田泰廣教授」 担当講師：澤田 泰廣

学習目標：大学院におけるデザイン研究のレベルと、その取り組み方の理解を目標とします。

授業内容：多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程（修士課程）デザイン専攻グラフィックデザイン研究領域について。

前期学科授業名：「ポートフォリオ講座」 担当講師：上野 仁志

学習目標：ポートフォリオは、記録集ではない。「何ができるか」「何をしたいのか」を伝えるもの。ポートフォリオの制作を通じて、自己作品の効果的な提示方法を習得する。また、「作品を見返すこと」、「他者のポートフォリオを見ること」、「自らの言葉で作品を説明すること」を通じ、自己作品を俯瞰で捉え、作品制作のあり方を探る。

授業内容：初日に「ポートフォリオを作ろう」講義を行います。個々に対応した、ポートフォリオ作成をアドバイスします。最終日に、作成したポートフォリオの説明（プレゼンテーション）を実施。

前期学科授業名：「美術日本語」 担当講師：メロス美術学院講師

学習目標：美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。

授業内容：1. 1 分間スピーチ（30分）

2. 美術関係記事についてのディスカッション（50分）

3. 映像教材を用いた美術用語導入（90分）

4. 前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分）

5. 課外宿題

後期選択学科授業名：「小論文」 担当講師：蔣 燕萍

学習目標：模擬小論文を通じて、小論文の練習に繋げる。

授業内容：入試小論文の内容を向上すること。

美術進学コース版画専攻分野対象

授業名：「版画総合研究ゼミ」 担当講師：鈴木吐志哉

学習目標：

- 版画表現における各自のテーマにそった表現方法・版種・コンセプトを考察・研究・制作する。
- 必要に応じて版画2年の技法実習と並行し、版画技法のさらなる充実を目指す。
- 年間を通してポートフォリオを作成できるだけの作品の制作を目指す。

授業内容：

[前期] ・版画作品を2点以上制作。(2年版画実習作品含む)

- ・ポートフォリオ制作
- ・作家研究

[後期] ・版画作品を4点以上制作。

- ・ポートフォリオ制作

研究科

■ 美術進学コース イラストレーション・絵本専攻分野

	授業科目		履修形式	単位数
学 科	日本語能力試験 N1 対策		必修(*注)	4
	進学準備講座		必修	6
	研究計画作成法		必修	1
	クリエイティブ業界の現状と課題		必修	1
	前期小論文		必修	1
	ポートフォリオ講座		必修	1
	特別授業ー多摩美術大学澤田泰廣教授		VD 必修	
	美術日本語		必修	2
	後期小論文		選択	1
実 技	総合研究	イラストレーション研究 A	必修	2
		イラストレーション研究 B	必修	2
	小計 16 以上 *習得する科目の合計が 16 単位以上にならない			
	修了制作	デザイン総合研究ゼミ	必修	16
	合計			32

(*注)すでに日本語能力試験 N1 を取得した者は対象外となります。

研究科

■ 美術進学コース グラフィックデザイン専攻分野

	授業科目		履修形式	単位数
学 科	日本語能力試験 N1 対策		必修(*注)	4
	進学準備講座		必修	6
	研究計画作成法		必修	1
	クリエイティブ業界の現状と課題		必修	1
	前期小論文		必修	1
	特別授業ー多摩美術大学澤田泰廣教授		VD 必修	
	ポートフォリオ講座		必修	1
	美術日本語		必修	2
	後期小論文		選択	1
実 技	総合研究	イラストレーション研究 A	選択	2
		イラストレーション研究 B	選択	2
	小計 16 以上			
	*習得する科目の合計が 16 単位以上にならない			
	修了制作	デザイン総合研究ゼミ	必修	16
	合計			32

(*注)すでに日本語能力試験 N1 を取得した者は対象外となります。

研究科

■ 美術進学コース アニメーション&コミック専攻分野

	授業科目		履修形式	単位数
学 科	日本語能力試験 N1 対策		必修(*注)	4
	進学準備講座		必修	6
	研究計画作成法		必修	1
	クリエイティブ業界の現状と課題		必修	1
	前期小論文		必修	1
	ポートフォリオ講座		必修	1
	特別授業ー多摩美術大学澤田泰廣教授		VD 必修	
	美術日本語		必修	2
	後期小論文		選択	1
実 技	総合研究	イラストレーション研究 A	選択	2
		イラストレーション研究 B	選択	2
	小計 16 以上			
	*習得する科目の合計が 16 単位以上にならない			
	修了制作	アニメーション&コミック 総合研究ゼミ	必修	16
	合計			32

(*注)すでに日本語能力試験 N1 を取得した者は対象外となります。

前期学科授業名：「日本語能力試験 N1 対策」 担当講師：蒋 燕萍

学習目標：①日本語能力試験 N1 に合格できる力を付けること。

②試験対策にとどまらない全般的な語彙の力をつけること。

授業内容：試験に出題される「文字語彙」「文法」「聴解」の練習問題の解答を通じて日本語力を向上させること。

前期学科授業名：「進学準備講座」 担当講師：蒋 燕萍

***2/3(水)、2/12(金)、2/19(金)、2/26(金)は希望選択**

学習目標：美術大学院への進学を目指す内容です。大学院への進学に十分対応可能な能力を身につけることを目標としています。

授業内容：大学院進学に必要な学校選び方、研究室の選び方、教授への連絡の取り方、面接指導などを通じて、合格まで授業や個別対応にてサポートします。
また、発信力を向上するため毎回の授業で、関連記事の感想発表を行います。

前期学科授業名：「研究計画作成法」 担当講師：新川貴詩

学習目標：研究計画書の構成や表現、そして日本語の論理的な文章の書き方を身につけることを目標とする。また、大学院受験に必要な研究計画のプレゼンテーションや面接試験の応答の能力も高める。

授業内容：この講義では、大学院進学に向けて、研究計画書を書く方法について学ぶ。研究計画書の構成や文体などを習得するとともに、研究課題の絞り込みや動機・背景の整理整頓を図る。また、大学院の学科や指導教員を選択するにあたっての情報収集の方法についても学ぶ。

前期学科授業名：「クリエイティブ業界の現状と課題」 担当講師：高橋庸平

学習目標：大学院入試における小論文試験で求められる専門知識について、理解を深めることを目標とします。

授業内容：各回ごとに設けられたテーマに沿った講義とディスカッションを通して、クリエイティブ業界（グラフィックデザイン、イラストレーション、アニメーション）の現状と課題について学習します。

前期学科授業名：「小論文」 担当講師：蔣 燕萍

学習目標：入試小論文の内容を向上すること。

授業内容：模擬小論文を通じて、小論文の練習に繋がること。

学科授業名：「特別授業-多摩美術大学澤田泰廣教授」 担当講師：澤田泰廣

学習目標：大学院におけるデザイン研究のレベルと、その取り組み方の理解を目標とします。

授業内容：多摩美術大学大学院美術研究科博士前期課程（修士課程）デザイン専攻グラフィック
デザイン研究領域について。

前期学科授業名：「ポートフォリオ講座」 担当講師：上野仁志

学習目標：ポートフォリオは、記録集ではない。「何ができるか」「何をしたいのか」を伝えるもの。ポートフォリオの制作を通じて、自己作品の効果的な提示方法を習得する。また、「作品を見返すこと」、「他者のポートフォリオを見ること」、「自らの言葉で作品を説明すること」を通じ、自己作品を俯瞰で捉え、作品制作のあり方を探る。

授業内容：初日に「ポートフォリオを作ろう」講義を行います。個々に対応した、ポートフォリオ作成をアドバイスします。最終日に、作成したポートフォリオの説明（プレゼンテーション）を実施。

前期学科授業名：「美術日本語」 担当講師：メロス美術学院講師

学習目標：美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。

授業内容：1. 1 分間スピーチ（30分）
2. 美術関係記事についてのディスカッション（50分）
3. 映像教材を用いた美術用語導入（90分）
4. 前回導入した美術用語のチェック小テスト（10分）
5. 課外宿題

後期選択学科授業名：「小論文」 担当講師：蔣 燕萍

学習目標：模擬小論文を通じて、小論文の練習に繋げる。

授業内容：入試小論文の内容を向上すること。

イラストレーション・絵本専攻分野必修

授業名：「イラストレーション研究A」 担当講師：谷口広樹

*デザインビジネスアイエル専攻分野が受講する場合、タイトルは「特別授業イラスト表現」

学習目標：ただ自身の好きなものを描くのではなく、目的に合う自分の表現のための演出力と創造性を身につける

授業内容：季刊誌の表紙のイラストレーションを制作する および 各授業毎に課題を課し授業内で制作をする

イラストレーション・絵本専攻分野必修

授業名：「イラストレーション研究B」 担当講師：都築 潤

*アニメーション&コミック専攻分野学生が受講する場合、日本語能力試験 N1 対策と美術日本語が受講できない日程があります。

学習目標：イラストレーションについて一歩踏み込んだテーマ設定と研究を進めます。

授業内容：イラストレーション史（レクチャー）／作品ポートフォリオ作成

授業名：「デザイン総合研究ゼミ」 担当講師：関根 慎一

学習目標：これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書を完成し、40 点以上の作品制作による受験用ポートフォリオの充実を目指す。

授業内容：A) これまでの研究成果の発表の場としての、架空の個展開催におけるポスター・フライヤー・グッズ等を制作する。さらに、展示作品として数点制作する。

B) 現在関心のあるテーマを決めて、メッセージポスターを制作する。他に、メッセージを広く伝えるためのアイテムあるいはポスター以外の新しいメディア等の開発と制作。

C) 広告・エディトリアル&ブックデザイン・パッケージデザイン・CI・小型グラフィックなど、各自の研究テーマに基づいた作品の制作。

美術進学コースアニメーション&コミック専攻分野対象

授業名：「アニメーション&コミック総合研究ゼミ」 担当講師： 岡山拓史

学習目標：大学院進学に向けて、試験で必要となるクオリティの高い作品制作を目指す。

授業内容：映像、漫画、デジタルイラストなど学生が希望する内容に合わせて個別に指導する。

また試験で必要となるポートフォリオ、小論文、志望動機などの指導もする。

学校法人高澤学園

創形美術学校

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-31-2

TEL 03-3986-1981 FAX 03-3986-1982

URL <https://www.sokei.ac.jp/>

E-mail:sokei @ sokei.ac.jp